

第16回JP1ユーザ会Select

お伝えします、私たちのJP1活用事例！攻めのJP1活用事例

2019年08月29日



主催：アシスト JP1 ユーザ会 東日本支部

参加費無料 | 事前登録制

第 16 回 JP1 ユーザ会 Select

お伝えします、私たちの JP1 活用事例
『攻めの JP1 活用事例』

2019 年 8 月 29 日 木

会場：アシスト 市ヶ谷本社

JP1ユーザ会Selectは、JP1の活用方法や運用改善に向けた取り組みについて、システム運用の現場で活躍されているユーザー同士で共有していただける場です。

第16回となる今回は、「攻めのIT」への転換に取り組まれているお客様のJP1活用事例の発表や、参加者様の関心度の高いテーマでの情報交換を、ジョブ管理、障害監視、IT資産・配布管理の各分野に分かれて実施し、懇親会まで大いに盛り上がりました。

主催：アシストJP1ユーザ会東日本支部 後援：株式会社日立製作所



ご挨拶 | ジョブ管理セッション | 障害監視セッション | IT資産・配布管理セッション | 情報交換会 | ユーザ交流会・アンケート結果

ご挨拶

株式会社アシスト
JP1ユーザ会Select事務局代表
鈴木 武

アシストJP1ユーザ会は、おかげさまで全国約4,600名（2019年4月現在）の会員登録、2018年度に開催したイベント（東日本支部会）では、延べ251社335名のユーザー様にご参加いただきました。

JP1ユーザ会では、「他社の現場を見る」「他社事例を聞く」「会員同士で話す」「最新動向を知る」「スキルを磨く」「開発メーカーへ申す」をコンセプトに企画を検討・実施し、ユーザー会員様へ様々な価値を提供していきます。
またイベント開催だけでなく、Webサイトやメールマガジン、会報誌「ROOKS」、JP1技術者ブログなどを通じて、常に最新で有益な情報をお届けしてまいります。

JP1ユーザ会Selectの活動としては、2018年度に「ワークスタイル変革への第一歩！」をテーマに開催しました。
2019年度は、「お伝えします、私たちのJP1活用事例」がテーマとなっており、今回は【攻



めのJP1活用事例】を、次回は【JP1の最新情報は“いつもここから”】と題して、2019年12月10日（火）の開催を予定しています。

皆様のご参加をアシスト社員一同お待ちしております。

ジョブ管理セッション

JP1/AJS3を中心としたジョブ管理グループでは、株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS 様にご登壇いただき、ジョブ管理業務の品質改善への取り組みとその効果についてご発表いただきました。

また、アシスト技術によるクラウド×JP1/AJS3の活用事例発表や、品質維持・改善をテーマにグループに分かれての情報交換会を実施しました。

『ジョブ管理業務の品質を支える改善事例』

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
情報システム室 インフラサービス部
高橋 茉由 様



株式会社 USEN-NEXT HOLDINGSは、2017年に「USEN」「U-NEXT」の2社が経営統合し、コンテンツ配信や通信など6つの事業セグメントから成る幅広い事業展開を行い、同社を含めた18社もの企業から成るグループ企業です。

同社はビジネスを支えるジョブ管理基盤として2000年後半にJP1を採用し、現在では1日に約2,000ジョブが稼働しています。

JP1の経年利用と担当者異動を機にジョブ管理業務の品質改善を検討した結果、リスクアセスメントの実施と定期的なヘルスチェックによる基盤の安定化、ジョブ定義や申請ルールの見直しによる業務標準化、独自開発のジョブ検索ツールやJP1/AJS3-WebConsole活用によるオペレーション工数の削減と対応スピードアップを実現しました。

改善活動に積極的に取り組む同社は、JP1のバージョンアップに加え、システムリブレースに伴う基盤／業務タスクの継続的な見直しについても今後実施していく予定です。

参加者の声

- 他社のジョブ環境や事例を知ることができて良かった。
- 申請（ジョブ）方法から登録、管理の方法まで参考になった。
- 運用改善を行われている点が気になったので、もう少し掘り下げて聞いてみたい。
- JP1の使い方含め知らないことが多く、とても参考になった。
- さっそく社内で報告して、改善を検討したいと思った。

『クラウド×ジョブ管理 JP1活用事例』

株式会社アシスト
齋賀 景介

ジョブ管理業務を支える「処理」「基盤」「運用」の観点で、クラウド×JP1の活用事例／Tipsをご紹介します。

- ・ 処理：業務処理の制御



- ・基盤：バックアップ・BCP対策
- ・運用：定期メンテナンス・デプロイ

障害監視セッション

JP1/IMを中心とした障害監視グループでは、株式会社トヨタテック 様にご登壇いただき、外部システムの効率的な統合監視実現に向けた取り組みとその結果についてご発表いただきました。

また、アシスト技術によるイベントアセスメント活用事例発表や、イベント管理の状態を自己診断いただくワークを実施しました。

『クラウド監視をJP1で統合管理する虎の巻』

株式会社トヨタテック
芝浦システムセンター事業部
システム管理グループ 担当課長
三村 雄一 様



株式会社トヨタテックは、都内トヨタ直営販売店 6 社の統括会社であるトヨタモビリティ東京の傘下であり、販売店のシステムインフラ集約やフルサポートだけでなく、トヨタグループの自動車販売システムと連携する各システムの開発・運用・保守を担っています。

2009年よりJP1でのシステム監視を実施している同社は、自動車販売システムのプライベートクラウド移行後にJP1/IMでの直接的監視ができなくなるという課題に直面。解決のために監視要件をログとメールに絞り、監視条件を詳細化した上で監視オペレーションをRBAツールで自動実行させ、従来の監視システムであるJP1/IMに情報連携させる仕組みを構築しました。

この新しい管理手法により、監視業務の可視化と自動化が実現し、これまでよりも少ない人数で効率的にシステムの統合管理を行えるようになりました。

参加者の声

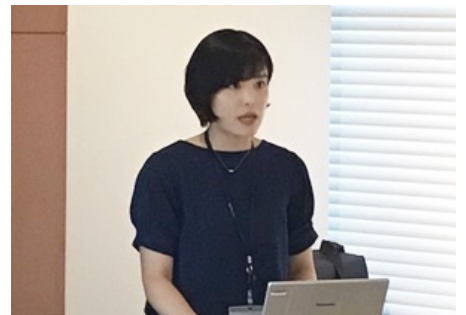
- ログとメールの取込による自動化について、自社でも適用できれば良いなと思った。
- どのようなところに問題を抱え、解決に苦労しているのか分かりやすかった。
- JP1/IMのセントラルスコープを全然使っていないため、興味がわいた。
- 今後直面するであろう課題のイメージが付いた。

『システム監視の改善 ビフォー・アフター』

株式会社アシスト
小林 未佳

システム監視業務においてたびたび発生する「爆発的なイベント増加」。

重要イベントを見逃して障害の拡大につながる恐れがあるこの課題に対して、アシストが提供するアセスメントサービスを利用した調査内容とその効果をご紹介します。



IT資産・配布管理セッション

JP1/NETM製品およびJP1/ITDM2を中心としたIT資産・配布管理グループでは、アシスト技術によるコスト最適化と労務管理でのIT資産管理データのお客様活用事例をご紹介します。

また、事例を基にユーザー同士で「IT資産管理データの活用方法」をテーマに議論を交わしました。

『調達部門と連携したコスト最適化への挑戦』

株式会社アシスト
高宮 良和

IT部門のミッションであるコスト最適化に向け、調達部門と連携し、機器と契約・費用情報を紐づけることで遊休資産を可視化。企業全体の視点でIT資産の有効活用に成功した事例をご紹介します。



『タレントマネジメント・労務管理へのデータ活用』

株式会社アシスト
本間 裕基

企業の経営課題である働き方改革に対し、操作ログ情報を活用・分析することで、社員の傾向把握や見直しが必要な業務の洗い出しなど、生産性向上に挑戦されている事例をご紹介します。



情報交換会/ワークショップ

日頃JP1を活用されるユーザーの皆様とアシストJP1技術メンバーで、現状の運用業務における課題やお悩み、取り組み状況などの情報交換や、自社の現状を振り返るためのワークショップを実施しました。ジョブ管理、障害監視、IT資産・配布管理の各分野ごとグループに分かれ、テーマに沿った積極的な意見交換をしていただきました。



【ジョブ管理グループ】ジョブ管理の品質維持・改善について

JP1/AJS3を中心としたジョブ管理の品質維持・改善をテーマに、各グループで議論を交わしました。

▼ジョブ管理の開発・運用規約の取り組み

- ・ジョブのネーミングルールや利用できるパラメータ等をドキュメントで明文化している。しかし、ユーザーへのルール徹底の周知が難しくルールが形骸化してしまうケースもある。
- ・前回の処理延伸時や持ち越し（繰り越し未実行）が発生した場合、次回予定の対応を各ジョブやステータスに応じて規約化することで、運用オペレーションを標準化している。

▼ジョブ管理業務の効率化の取り組み

- ・JP1/AJS3の定義内容の事前チェック機能を活用することで、本番環境へのジョブ移送時のテストの効率化を図っている。
- ・ジョブの処理内容が一目でわかるようにジョブのコメント欄に日本語でシステムや業務内容、処理サイクル等を設定するように工夫している。

【障害監視グループ】障害監視の品質維持・改善について

JP1/IMの有効利用に向けて、各セッション後に自社を振り返るためのワークショップを実施しました。

▼システム監視の改善検討

JP1/IMを活用したシステム監視について、自社の現状を確認いただくワークを実施しました。

10問〇×形式で自社のイベント監視の状況を振り返り、見直しの有無などを自己診断。約40%近いユーザ様が見直しが必要な水準となり、システム監視の改善に向けて検討いただく結果となりました。

▼クラウド環境での運用管理検討

自社のクラウド利用状況の整理と、今後クラウド利用を想定した取り組みイメージをまとめていただきました。

90%以上のユーザ様が基幹／業務システムでクラウドサービスをご利用中であり、今後もクラウドサービスの利用拡大が想定される結果となりました。

【IT資産・配布管理グループ】IT資産管理データの活用について

JP1/NETMおよびJP1/ITDM2をご利用中のユーザ様同士で、IT資産管理データをいかに活用するかをテーマに、情報交換を実施しました。

▼コスト最適化に向けた活用

- ・部門や担当間の連携ができていない場合、不要になったことを知らずに「とりあえず保守更新しておく」というケースがあり、無駄な投資となることが多々あるため、参考になった。
- ・ハードウェアだけでなく、ソフトウェアのコスト対策も重要な課題。ソフトウェアはライセンス違反对策に加え、脆弱性対策の観点でも管理する必要があり、バージョン管理や社内標準化などの対応が求められている。

▼労務管理に向けた活用

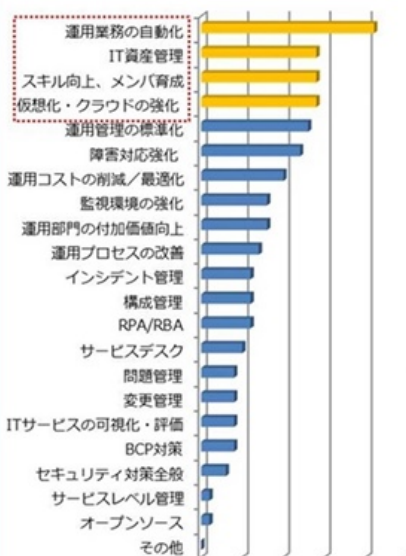
- ・重要なファイルの削除など、証跡管理や抑止力の目的で操作ログを取得しているが、それ以外の用途は考えたことがなかった。操作ログで高額なソフトウェアの利用実態を確認することで、有益な投資だったかを判断できそう。
- ・操作ログ、購買情報など、IT資産管理として取得している情報をユニークなキーでうまく紐付けることで、労務管理やコスト最適化などにも活用できるかもしれない。

ユーザ交流会・アンケート

ご来場の皆様にお答えいただきましたアンケートの集計結果です。

今後の取り組み／改善テーマの1位は「運用業務の自動化」でした。業務自動化については昨年8月・12月の開催時も1位となっており、年間を通して自動化実現に向けた施策検討や取り組みをされていることがわかります。 また、働き方改革の一環として業務の見直しや資産の洗い出しを実施し、企業全体の無駄を削減する施策が進んでいることの表れとして、「IT資産管理」が前回10位から大きくランクアップしています。

今後、取り組みや改善が必要だと思うテーマ



参加者の声

事例や生の声を聞いて良かった、という感想をお持ちのお客様が多く、全体の満足度は97%でした。情報交換会後の懇親会でも、ユーザー様同士積極的に交流を深めていただき、大変盛り上がりしました。

- 他社の事例を聞いて良かった。
- 実際にJP1を利用されているユーザーの声を聞けるのが良い。
- 他社事例やアシストのノウハウをヒアリング出来たことが、今後生かせると感じた。
- 利用中の製品・目的ごとに話を聞くことができたので良かった。



ユーザー交流会の様子

[↑ ページトップへ戻る](#)